



One for Children, All for Children

# 久我山青光学園

学園便り 2月号  
校長 宮田 守  
令和7年1月31日発行

明日に向けて

副校長 月崎 泰照

3学期が始まり、1か月が経過しました。日頃から、本校の教育活動について御理解・御協力を賜り、ありがとうございます。先日の授業参観では、たくさんの皆様にお越しいただき、子供たちの日頃の学習の様子を御参観いただくことができました。ありがとうございました。参観されて、お気づきのことや疑問に思われたことなどがございましたら、ぜひ遠慮なくお知らせください。

さて、昨夏は異常に長く、秋らしい秋を感じることもないまま冬を迎えたような気がします。天候不順の影響で野菜の高値が続いています。こんな時こそ栄養のあるものを食べておきたいのですが……。この冬はインフルエンザが大流行とのこと、引き続き体調管理に気を付けて過ごしてまいりましょう。

学校では、そろそろ今年度1年間のまとめに向けて、様々なことが「締め」に向かうのと同時に、4月からの令和7年度の教育活動に向けた準備も着々と進めているところです。年間での学校としての取組や学校行事や校外活動などについての検討が最終段階を迎えようとしています。各御家庭からいただきました学校評価アンケートの内容を踏まえ、学校として取り組むべき課題の解決に向けて、様々な計画を練っています。一人一人にとって、より良き教育活動となりますよう進めてまいりますので、今後とも御理解と御協力の程よろしく願いいたします。

視覚障害教育部門 寄宿舎担当 田村 亮子  
寄宿舎の交流活動について

寄宿舎では、毎年、「寄宿舎を知ってもらうこと」「人との関わりを広げる機会とすること」をねらいとして、11月に聖心女子学院、1月に國學院大學久我山中学高等学校とゲームやクイズなどで交流をしています。

今年度の聖心女子学院との交流会は、吊るしてある楽器にボールを転がして当てる「楽器でコロコロゲーム」でした。ボールが当たり、鈴やタンバリンの音が鳴ると歓声と拍手が響きました。最後に聖心女子学院のお友達から、手作りの参加賞を頂きました。短い時間でしたが楽しい会になりました。



知的障害教育部門 進路指導部主任 藤野 絵里子

令和6年度も残すところ2か月となり、まとめの時期に入っています。また、小学部6年生・中学部3年生は卒業に向けた準備が本格化してきて、「中学部・高等部へ向けて」という気持ちが強くなってきている頃と思います。

さて、進路からは高等部進学へ向けてどのような力が必要となるのかを御紹介します。

- ① 基本的な生活動作や基本的生活習慣の確立
- ② 役割を果たす意欲（お手伝いをする）
- ③ 友達と協力して活動ができる
- ④ 自分自身でできることを増やす
- ⑤ 分からないことや困ったことを自分から発信できる
- ⑥ 様々な人や環境に慣れる適応力
- ⑦ ルールが守れる
- ⑧ 社会生活に必要なマナーや態度を身に付ける
- ⑨ 最後まで自分の役割や仕事をやり通す

高等部に入学すると、すぐに高等部卒業後へ向けて現場実習等が始まります。そのことを念頭に置き、小学部・中学部段階から徐々に着実な力を付けていくことが求められます。一日一日を大切に、家庭と連携を取りながら、仲間や先生と様々な学習及び活動に励んでいってほしいと思います。